LINK-J
Life Science Innovation Network Japan

ネットワーキング・ナイト WITH SUPPORTERS #41

第3回 早稲田大学ネットワーキング・ナイト

スポーツ×ライフサイエンス×ベンチャーキャピタル@早稲田

2019
12/12(木)
18:00-21:00(17:30受付開始)
@日本橋
ライフサイエンスハブ

早稲田大学がこれまで日本の大学スポーツ界で確固たる地位を占めてきたのはご承知の通りです。更に、東京オリンピックを前にしてという理由ばかりではなく、スポーツ科学がライフサイエンス分野でのサブ領域として認知度を上げてきています。また、テクノロジー・スタートアップで、そのビジネスの成長性が極めて高いところに資金提供をするベンチャー・キャピタルも、スポーツ科学関連のスタートアップに熱い視線を投げかけ始めました。
果たして、早稲田で、ライフサイエンスとしてのスポーツ科学で、ベンチャーキャピタルの投資戦略で、今何が起ころうとしているのか?
第3回早稲田大学ネットワーキングナイトではその最先端を、ライフサイエンスをキーワードにご紹介しようと考えています!

基調講演

原田 宗彦

早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授
一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構代表理事
「スポーツビジネスの最前線」

挨拶

笠原 博徳

早稲田大学 副総長
理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科 教授

司会

秋本崇之

早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授

ショートピッチ&パネルディスカッション

講演

宮田 拓弥

Scrum Ventures 創業者/ジェネラルパートナー
「ベンチャー・キャピタリストが期待するスポーツビジネス」

ウェアラブル体温デバイスを活用した女性アスリート支援

丸井 朱里

早稲田大学人間科学学術院　助教
株式会社 HERBIO 共同創業者兼 CRO

モデレーター

朝日 透

早稲田大学 理工学術院
先進理工学部 生命医科学科 教授
グローバル科学知融合研究所 所長

~ビジネスメソッドを教育現場に持ち込む~
「21世紀型教育」×「スポーツ」における事業開発の最新事例

田村 恵彦

株式会社 biima 代表取締役 CEO

挨拶&モデレーター

樋原 伸彦

早稲田大学ビジネススクール 准教授
※ LINK-J サポーター

運動する子どものケガ予防と人間教育を両立する

諸留　卓

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 修士課程1年次生
日本体操協会男子体操競技1種公認審判員

主催:LINK-J 協力:早稲田大学 WASEDA-EDGE 人材育成プログラム/大川アカデミー教育研究プログラム/グローバル科学知融合研究所

Networking Night *with supporters*

プログラム

17：30 - 受付
18：00 - 開会挨拶、LINK-J 紹介
18：05 - サポーター挨拶（樋原准教授）
18：10 - 早稲田大学挨拶（笠原副総長）
18：15 - 基調講演 原田宗彦教授（司会：秋本教授）
18：35 - ショートピッチ＆パネルディスカッション
19：45 - ネットワーキング

会場へのアクセス

日本橋ライフサイエンスハブ

東京都中央区日本橋室町 1-5-5
室町ちばぎん三井ビルディング 8 階

参加申し込み

下記サイトよりお申込みください

https://linkj-nwn41.peatix.com

※ LINK-J サポーター・会員の方は、
割引コードをお伝えしますので、LINK-J までご連絡ください。

参加費

LINK-J 会員	￥500
非会員	￥2,000
学生	無料（要学生証提示）

※飲みもの、軽食付（懇親会）

お問合せ

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン（LINK-J）

TEL:03-3241-4911（平日 9:00-17:00）
E-mail:contact @ link-j.org　web:www.link-j.org

LINK-J
Life Science Innovation Network Japan

登壇者プロフィール

原田 宗彦　ハラダ ムネヒコ

ペンシルバニア州立大学博士課程修了。鹿屋体育大学助手を経て大阪体育大学教授。フルブライト上級研究員（テキサス A&M 大学）を経て現在は早稲田大学スポーツ科学学術院教授。役職として日本スポーツマネジメント学会会長、（一般社団法人）日本スポーツツーリズム推進機構代表理事、（公益社団法人）日本スポーツ健康産業団体連合副会長、日本トライアスロン連合顧問、Jリーグ参与等を務める。著書として「スポーツ産業論第 6 版」（編著）、「オリンピックマーケティング」（監訳）、「スポーツマーケティング改訂版」（共著）「スポーツ・ヘルスツーリズム」（編著）「スポーツイベントの経済学」（単著）「スポーツ都市戦略」（2016 年度不動産協会賞受賞）他多数。

宮田 拓弥　ミヤタ タクヤ

サンフランシスコをベースに、米国のテックスタートアップへの投資を行うベンチャーキャピタルを経営。これまでに、Mobility、Fintech、IoT、VR、コマース、ヘルスケアなど革新的な 60 社超えるスタートアップに投資を実行している。また 2018 年 3 月より大企業のオープンイノベーションを支援するスタジオ事業をスタート。各業界を代表する大企業パートナーのもつアセットを最大限引き出し、世界中のスタートアップと共に新たな価値の創造を行っている。それ以前は、日本および米国でソフトウェア、モバイルなどのスタートアップを複数起業。2009 年ミクシィのアライアンス担当役員に就任し、その後 mixi America CEO を務める。早稲田大学大学院理工学研究科薄膜材料工学修了。

秋本 崇之　アキモト タカユキ

筑波大学医学研究科を修了し, 博士(医学) 取得. 東京大学総合文化研究科·助手, Duke University Medical Center · Research Associate, 早稲田大学先端科学 · 健康医療融合研究機構 · 客員講師（専任扱い）, 東京大学医学系研究科 · 講師, を経て現職. この間 2010-2011 年に University of Padova にて Visiting Professor. 専門は筋生物学, メカノバイオロジー.

笠原 博徳　カサハラ ヒロノリ

1980 年早稲田大学理工学部卒業、1985 年同大学院理工学研究科博士課程修了。工学博士。米国カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、イリノイ大学 Center for Supercomputing R & D 客員研究員、日本学術振興会第1回特別研究員、早稲田大学理工学部専任講師、助教授を経て現職。2018 年 11 月より早稲田大学副総長。2018 年 IEEE Computer Society 会長、IEEE Fellow。専門は、マルチコアプロセッサとマルチコア用自動並列化及び低消費電力化コンパイラ。

朝日 透　アサヒ トオル

1986 年早稲田大学理工学部応用物理学科卒。1992 年博士（理学）。2007 年経営学修士（専門職）。早稲田大学理工学部助手、助教授を経て 2007 年 4 月より現職。物理学、化学、生物学及び薬学に跨るキラリティが関与する学際的研究の立場に基づき、有機 · 無機問わず物質の光学的 · 物理化学的性質などを解明する研究を行っている。

樋原 伸彦　ヒバラ ノブヒコ

東京大学教養学部教養学科（国際関係論）卒業。東京銀行入行後、世界銀行コンサルタント、通商産業省通商産業研究所客員研究員、米コロンビア大学ビジネススクール日本経済経営研究所助手、カナダ·サスカチュワン大学ビジネススクール助教授を経て、2006 年には立命館大学准教授に就任。2011 年からは早稲田大学大学院経営管理研究科准教授を務める。コロンビア大学大学院博士課程修了。

田村 恵彦　タムラ ヨシヒコ

㈱ biima 代表取締役 CEO。早稲田大学スポーツ科学研究科修了。株式会社リクルートに新卒入社。全社の新規事業開発室に配属され、社内ベンチャー企業を設立。事業部長として、デジタルマーケティング事業を立ち上げ、60 名規模の事業部まで成長させる。2016 年、株式会社 biima を設立。教育事業、コンサルティグ事業、クリエイティブ事業を立ち上げる。

丸井 朱里　マルイ シュリ

早稲田大学人間科学学術院　助教 / 株式会社 HERBIO 共同創業者兼 CRO
2018 年早稲田大学人間科学研究科博士課程修了、博士（人間科学）。主に閉経前後の女性の体温調節について、ラットを用いた研究を行っている。また、基礎体温の予測に関してヒト女性を対象にした研究も行っている。2017 年 9 月に株式会社 HERBIO を共同創業者として設立し、体温ウェアラブルデバイス開発を行っている。

諸留 卓　モロドメ タク

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修士課程 1 年次生／日本体操協会男子体操競技 1 種公認審判員。「4 歳半のときに始めた体操競技の練習の過多で、中学 2 年時に肘の軟骨障害を経験しました。スポーツドクターを志して再受験した医学部入試に不合格となり、大学院に進学してから、多摩美術大学× WASEDA-EDGE プログラム連携講座の履修や、スタートアップコンテスト『TOKYO STARTUP GATEWAY』への参加を通し、起業を目指しています。」